

平成 22 年度健やか親子 2 1 全国大会開催要領

第 1 大会趣旨

全国から母子保健事業及び家族計画関係者多数の参加を求め、母子保健の諸問題についての研究討議により「健やか親子 2 1」の推進を図るとともに、事業推進に功績のあった個人及び団体を表彰し、もって、我が国の母子保健事業及び家族計画事業の一層の推進を図る。

第 2 主 催

厚生労働省（雇用均等・児童家庭局母子保健課）
埼玉県（保健医療部健康づくり支援課）
さいたま市（さいたま市保健福祉局保健部健康増進課）
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
社団法人日本家族計画協会
社団法人母子保健推進会議

第 3 後 援（予定）

（社）日本医師会、（社）日本歯科医師会、（社）日本薬剤師会、（社）日本助産師会、（社）日本看護協会、（社）日本小児保健協会、（社）日本家庭生活協会、（社）全国保健センター連合会、（社）日本産婦人科医会、（社）日本小児科医会、（財）母子衛生研究会、（社）日本栄養士会、（財）日本公衆衛生協会、（財）家族計画国際協力財団、全国母子保健推進員等連絡協議会、健やか親子 2 1 推進協議会

【地元の団体】

（社）埼玉県医師会、（社）浦和医師会、（社）大宮医師会、（社）さいたま市与野医師会、（社）岩槻医師会、（社）埼玉県歯科医師会、さいたま市歯科医師会、（社）埼玉県薬剤師会、（社）さいたま市薬剤師会、（社）日本産科婦人科学会埼玉地方部会、埼玉県産婦人科医会、（社）日本小児科学会埼玉地方会、埼玉県小児科医会、埼玉県母性衛生学会、（社）埼玉県看護協会、（社）日本助産師会埼玉県支部、埼玉縣市町村保健師協議会、埼玉県小児保健協会、（社）埼玉県栄養士会、（社）埼玉県歯科衛生士会、埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会、（財）埼玉県民生委員・児童委員協議会、埼玉県保育協議会、埼玉県保育士会、埼玉縣市町村保健センター連絡協議会、埼玉市長会、埼玉県町村会、報道各社

第 4 開催日

平成 22 年 11 月 10 日（水）から 11 月 12 日（金）まで

第 5 会 場

埼玉会館（埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4）

第 6 参加者

母子保健事業及び家族計画事業関係者、延べ 1,500 人（予定）

第 7 大会テーマ

「笑顔あふれる家族・地域！！ ～今できること、すべきこと～」

第8 大会日程

- (1日目) 11月10日(水)
 - ・母子保健関係者研究集会
 - ・愛育班等組織育成担当者会議
- (2日目) 11月11日(木)
 - ・式典
 - ・特別講演
 - ・全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会
 - ・家族計画自由集会
- (3日目) 11月12日(金)
 - ・シンポジウム

第9 式典

表彰式を中心とした式典を行う。

- (1) あいさつ (予定) 厚生労働大臣、埼玉県知事、さいたま市長、恩賜財団母子愛育会会長、社団法人日本家族計画協会会長、社団法人母子保健推進会議会長
- (2) 表彰 厚生労働大臣表彰、恩賜財団母子愛育会長表彰、日本家族計画協会会長表彰、母子保健推進会議会長表彰
- (3) 来賓祝辞 日本医師会長(予定)
- (4) 受賞者謝辞
- (5) 次期開催県挨拶 福井県

第10 特別講演

- (1) 講師 三遊亭鳳楽氏
- (2) 演題 「落語が伝える親子の情」
- (3) 内容

落語の演目には親子の人情噺が数多くある。その中から現代にも通じる親子の情や子育ての基本、地域社会の中での子育てなどを落語をとおして再認識できるよう語っていただく。

第11 シンポジウム

- (1) テーマ 「地域ではぐくむ親子の笑顔」
- (2) 内容

育児の不安を軽減し親子の笑顔を育むためには、地域の専門職の支援や、親自身が子どもの状態に対処できる力をつけることも必要である。こうした地域での様々な取り組みについての報告と提言をいただく。

- (3) 基調講演

講師 峯 真人(医師/さいたま市岩槻区 医療法人自然堂峯小児科院長)
演題 「親子の笑顔をはぐくむために～診療・健診の現場から～」

- (4) コーディネーター及びシンポジスト

コーディネーター

・峯 真人氏 (医師、さいたま市岩槻区 医療法人自然堂峯小児科院長)

シンポジスト

- ・並木由美江氏 （看護師、越谷市立増林保育所）
- ・尾尻麻弓氏 （管理栄養士、伊勢原市保健福祉部健康管理課）
- ・阿真京子氏 （NPO 法人「知ろう！小児医療 守ろう！子ども達」の会代表）

附 則

この要領は、平成 22 年 6 月 30 日より施行する。